

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第36期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 畠中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第3四半期 連結累計期間	第36期 第3四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業収入(千円)	25,642,325	26,154,913	30,871,879
経常利益(千円)	3,788,233	2,891,495	4,245,765
四半期(当期)純利益(千円)	2,268,919	1,680,260	2,480,381
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,322,661	1,794,268	2,611,372
純資産額(千円)	15,394,366	17,116,089	15,680,788
総資産額(千円)	24,871,507	25,779,788	23,043,245
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	256.15	189.77	280.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	60.4	64.6	66.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,014,672	978,314	2,554,962
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,078,431	974,573	2,098,785
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	370,363	363,995	373,844
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,592,081	5,853,767	8,126,336

回次	第35期 第3四半期 連結会計期間	第36期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金(円)	123.15	55.23

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

（当第3四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	増減	増減率 （％）
営業収入	25,642	26,154	512	2.0
営業利益	3,690	2,732	958	26.0
経常利益	3,788	2,891	896	23.7
四半期純利益	2,268	1,680	588	25.9

〔経済状況〕

我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に円安基調を維持しており、関連企業の収益改善、個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入261億5千4百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益27億3千2百万円（前年同四半期比26.0%減）、経常利益28億9千1百万円（前年同四半期比23.7%減）、四半期純利益16億8千万円（前年同四半期比25.9%減）と増収減益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによる大型コンサートが増加
- ・ コンサートに関連し、ファンクラブ・商品売上収入が増加
上記要因などにより、増収となりました。

<営業利益>

- ・ 上記増収要因（コンサート関連の収入）による増益
- ・ イベント収入（当社アーティストによる舞台公演）の減少による減益
- ・ イベント収入（新規ミュージカル）の稼働率が低かったことによる減益
上記要因などにより、減益となりました。

<経常利益、四半期純利益>

上記要因などにより、減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	20,568	21,699	1,131	5.5
メディアビジュアル事業	3,475	2,805	670	19.3
コンテンツ事業	1,598	1,650	51	3.2
合計	25,642	26,154	512	2.0

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	3,653	2,743	909	24.9
メディアビジュアル事業	157	39	117	75.1
コンテンツ事業	447	535	87	19.6
調整額	567	586	19	-
合計	3,690	2,732	958	26.0

【アーティストマネジメント事業】

営業収入216億9千9百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益27億4千3百万円（前年同四半期比24.9%減）となり増収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：＜コンサート＞
 サザンオールスターズ（8 - 9月）、ONE OK ROCK（5 - 6月）、
 高橋優（5 - 6月、7 - 9月）のコンサートツアー
 当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
 「Amuse 35th Anniversary BBQ in つま恋」（7月）
 福山雅治 冬の感謝祭ライブ（12月）、Perfume ドームライブ（12月）
 ＜舞台・公演＞
 熱海五郎一座「天使はなぜ村に行ったのか」（6 - 7月）
 ミュージカル「黒執事」（5 - 6月）
 アミューズミュージカルシアターでの公演（4 - 11月）
 SUPERハンサムライブ（12月）
- ・ 出演収入・CM収入：サザンオールスターズ、福山雅治、吉高由里子、上野樹里、大泉洋など
- ・ 印税収入（新譜）：サザンオールスターズ（8月シングルCD）、福山雅治（4月シングルCD）、
 桑田佳祐（3月DVD）など
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズのファンクラブ会員収入など
- ・ 商品売上収入：サザンオールスターズグッズなど

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートの実施）が増加
（前年同四半期は地球ゴージャス（4 - 5月）や佐藤健出演の「ロミオ&ジュリエット」（5 - 6月）などの舞台公演、桑田佳祐（9 - 12月）、福山雅治（12月）、ポルノグラフィティ（7 - 12月）、Perfume（4 - 5月）、flumpool（4 - 9月）などのコンサートを実施）
- ・ ファンクラブ・商品売上収入が増加
（レーベル収入は減少。前年同四半期は福山雅治ライブDVDを2タイトル発売）
- ・ 印税収入（新譜）が減少
（前年同四半期は桑田佳祐アルバム）
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

イベント収入のうち、当社アーティストによる舞台公演が減少したことや、新規ミュージカル事業（アミューズ・ミュージカルシアター）の稼働率が低かったこと、大型作品の発売がなくレーベル収入、印税収入（新譜）が減少したことなどにより、全体では減益となりました。

【メディアビジュアル事業】

営業収入28億5百万円（前年同四半期比19.3%減）、セグメント利益3千9百万円（前年同四半期比75.1%減）となり、減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ DVD販売収入：福山雅治主演映画「真夏の方程式」（12月）、福山雅治主演ドラマ「ガリレオ」（9月）、佐藤健主演映画「リアル～完全なる首長竜の日～」（12月）、アニメ「君のいる町」（9月）、大泉洋主演映画「探偵はBARにいる2」（11月）、韓国ドラマ「となりの美男（イケメン）」（8月）など
- ・ 映像製作収入：福山雅治主演映画「真夏の方程式」などの劇場配給収入

<営業収入>

- ・ 大型作品が少なく、DVD販売収入が減少
（前年同四半期は「三銃士/王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船」（4月）、「るろうに剣心」（12月）、「カイジ2人生奪回ゲーム」（4月）、「一命」（4月）、「1911」（6月）などを販売）
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

【コンテンツ事業】

営業収入16億5千万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益5億3千5百万円（前年同四半期比19.6%増）となり、増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

貸与報酬の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22億7千2百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には58億5千3百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,014	978	1,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,078	974	1,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	370	363	6

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は9億7千8百万円（前年同四半期は10億1千4百万円の獲得）となりました。

これは、営業債務の増加及び税金等調整前四半期純利益などの資金増加要因を、営業債権の増加及び法人税等の支払額などの資金減少要因が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9億7千4百万円（前年同四半期は20億7千8百万円の使用）となりました。

これは、主に定期預金の預入による資金減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億6千3百万円（前年同四半期は3億7千万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払に伴う資金減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,247,040
計	37,247,040

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,311,760	9,311,760	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,311,760	9,311,760	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	9,311,760	-	1,587,825	-	1,694,890

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 458,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,657,800	86,578	-
単元未満株式	普通株式 195,960	-	-
発行済株式総数	9,311,760	-	-
総株主の議決権	-	86,578	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズ	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	458,000	-	458,000	4.92
計	-	458,000	-	458,000	4.92

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,646,930	8,877,042
受取手形及び営業未収入金	3,387,783	6,392,549
商品及び製品	1,041,752	1,416,749
仕掛品	1,183,288	1,211,280
貯蔵品	39,494	52,436
その他	1,191,654	1,737,385
貸倒引当金	308,627	303,302
流動資産合計	17,182,276	19,384,141
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,736	951,287
土地	1,760,487	1,760,487
その他(純額)	76,288	83,004
有形固定資産合計	2,825,512	2,794,780
無形固定資産	215,362	197,949
投資その他の資産		
投資有価証券	927,692	1,347,249
その他	1,898,076	2,073,080
貸倒引当金	5,674	17,412
投資その他の資産合計	2,820,093	3,402,917
固定資産合計	5,860,968	6,395,646
資産合計	23,043,245	25,779,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,437,426	6,616,059
未払法人税等	954,542	305,998
役員賞与引当金	37,200	-
返品調整引当金	37,000	11,900
その他	851,089	723,394
流動負債合計	6,317,258	7,657,351
固定負債		
退職給付引当金	910,318	923,479
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	118,408	66,395
固定負債合計	1,045,199	1,006,347
負債合計	7,362,457	8,663,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	12,598,860	13,944,218
自己株式	481,250	485,786
株主資本合計	15,400,325	16,741,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,272	18,264
為替換算調整勘定	153,578	117,602
その他の包括利益累計額合計	144,306	99,337
少数株主持分	424,769	474,278
純資産合計	15,680,788	17,116,089
負債純資産合計	23,043,245	25,779,788

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収入	25,642,325	26,154,913
営業原価	19,358,716	21,132,524
営業総利益	6,283,608	5,022,389
返品調整引当金戻入額	11,460	25,100
差引営業総利益	6,295,068	5,047,489
販売費及び一般管理費	2,604,252	2,315,473
営業利益	3,690,816	2,732,015
営業外収益		
受取利息	7,044	4,240
受取配当金	1,856	5,058
為替差益	51,786	128,347
受取手数料	11,231	3,590
持分法による投資利益	28,099	56,603
その他	2,806	10,322
営業外収益合計	102,826	208,163
営業外費用		
事業組合投資損失	4,124	44,355
固定資産除却損	126	4,321
その他	1,157	6
営業外費用合計	5,408	48,683
経常利益	3,788,233	2,891,495
特別利益		
投資有価証券売却益	3,250	-
特別利益合計	3,250	-
特別損失		
投資有価証券評価損	24,600	-
特別損失合計	24,600	-
税金等調整前四半期純利益	3,766,882	2,891,495
法人税、住民税及び事業税	1,459,178	1,029,493
法人税等調整額	14,108	112,702
法人税等合計	1,445,070	1,142,196
少数株主損益調整前四半期純利益	2,321,812	1,749,299
少数株主利益	52,893	69,038
四半期純利益	2,268,919	1,680,260

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,321,812	1,749,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,171	8,992
為替換算調整勘定	322	35,976
その他の包括利益合計	848	44,969
四半期包括利益	2,322,661	1,794,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,269,768	1,725,229
少数株主に係る四半期包括利益	52,893	69,038

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,766,882	2,891,495
減価償却費	155,645	143,994
貸倒引当金の増減額(は減少)	78,110	6,413
役員賞与引当金の増減額(は減少)	35,200	37,200
返品調整引当金の増減額(は減少)	11,460	25,100
退職給付引当金の増減額(は減少)	57,237	13,161
受取利息及び受取配当金	8,901	9,299
持分法による投資損益(は益)	28,099	56,603
事業組合投資損益(は益)	4,124	44,355
固定資産除却損	126	4,321
投資有価証券売却損益(は益)	3,250	-
投資有価証券評価損益(は益)	24,600	-
営業債権の増減額(は増加)	3,061,168	3,004,766
たな卸資産の増減額(は増加)	145,901	415,930
営業債務の増減額(は減少)	1,968,950	2,178,633
未払消費税等の増減額(は減少)	132,015	30,048
その他の流動資産の増減額(は増加)	305,689	636,445
その他の流動負債の増減額(は減少)	17,848	178,138
その他	49,991	276,620
小計	2,967,514	672,318
利息及び配当金の受取額	5,489	9,001
法人税等の支払額	1,976,970	1,664,091
法人税等の還付額	18,639	4,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,014,672	978,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,000,000	2,502,680
定期預金の払戻による収入	-	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	16,724	35,082
無形固定資産の取得による支出	19,805	49,341
投資有価証券の取得による支出	15,550	276,361
投資有価証券の売却による収入	14,250	-
子会社株式の取得による支出	31,590	72,628
貸付けによる支出	86,074	6,097
貸付金の回収による収入	83,045	2,066
その他	5,981	34,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,078,431	974,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	2,705	4,535
配当金の支払額	352,784	332,218
少数株主への配当金の支払額	6,642	19,530
その他	8,230	7,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,363	363,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	207	44,314
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,434,329	2,272,568
現金及び現金同等物の期首残高	8,026,411	8,126,336

現金及び現金同等物の四半期末残高	6,592,081	5,853,767
------------------	-----------	-----------

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	9,110,521千円	8,877,042千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	2,518,440	3,023,274
現金及び現金同等物	6,592,081	5,853,767

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会 (注)	普通株式	221,463	25.0	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	132,866	15.0	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 10.0円 記念配当 15.0円

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月23日 定時株主総会	普通株式	132,830	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金
平成25年11月13日 取締役会 (注)	普通株式	199,209	22.5	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 15.0円 記念配当 7.5円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	20,568,066	3,475,709	1,598,549	25,642,325	-	25,642,325
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	46,582	347,547	70,199	464,328	464,328	-
計	20,614,648	3,823,256	1,668,748	26,106,653	464,328	25,642,325
セグメント利益	3,653,361	157,010	447,573	4,257,945	567,129	3,690,816

(注)1. セグメント利益の調整額 567,129千円には、セグメント間取引消去17,158千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 584,288千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	21,699,491	2,805,091	1,650,330	26,154,913	-	26,154,913
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	44,630	195,919	73,664	314,213	314,213	-
計	21,744,121	3,001,010	1,723,994	26,469,127	314,213	26,154,913
セグメント利益	2,743,962	39,063	535,150	3,318,176	586,161	2,732,015

(注)1. セグメント利益の調整額 586,161千円には、セグメント間取引消去17,959千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 604,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	256円15銭	189円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,268,919	1,680,260
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,268,919	1,680,260
普通株式の期中平均株式数(株)	8,857,801	8,854,026

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....199,209千円

(ロ) 1株当たりの金額.....22円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社アミューズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 百井 俊次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。